

あおぞら

発行:愛知県被災者支援センター
住所:名古屋市東区泉 1-13-34
名建協 2階
TEL:052-971-2030
FAX:052-971-2050
開館:月曜～金曜 10時～17時



あま市小中学校生からの寒中見舞い絵手紙



4 団体合同交流会

「冬のあったか芋煮会・餅つき」↓



餅つき体験ー初めて挑戦した男の子、昔取った杵柄と息の合った手返し、簡単そうに見えて難しい

【支援情報】「令和6年能登半島地震により二次避難・
広域避難で愛知に来られたみなさまへ」

- 「能登半島地震避難者支援ネットワークあいち」
(認定NPO法人レスキューストックヤード内)
被災・避難のこと、支援制度のこと、不安なこと、
どこに相談したらよいかわからないことなど、
まずは気軽にご連絡ください。

Tel : 052-253-7550 (平日 10:00～18:00)

E-mail : info@rsy-nagoya.com

【名古屋市にお住まいの方の窓口】

- 被災者支援ボランティアセンターなごや

Tel : 070-5587-7153(平日 9:00～17:00)

電話相談・来所相談いずれもお受けしています。

【2025年1月号155号】

もくじ

- P1. 表紙写真: 交流会の一コマ、絵手紙
- P2. 交流会報告: 冬のあったか芋煮会
- P3. 濱田農園農作業体験「さつま芋掘り」、
劇団飛行船「ピーターパン」&ミニ交流会
- P4. ユース世代の防災・災害支援の取組み
・南山高校・中学女子部の取組み
・あま市小中学生「寒中見舞いの絵手紙」
・飛鳥学園「防災学習の冊子」
- P5. 災害ケースマネジメント・セミナー報告
- P6. 投稿/ひろさんの東北紀行「能代」
- P7. おすすめの一冊、さっちゃんのレシピ
- P8. イベント情報、ウクライナ避難者、編集後記

【合同交流会報告】「冬のあったか芋煮会」12/1(日)10:00~14:00 @発達センターあつた

共 催：震災・原発事故による県外避難者自主グループ めぐりあいの会、被災者支援ボランティアセンターなごや、愛知県被災者支援センター、能登半島地震避難者支援ネットワークあいち

協 力：社会福祉法人 名古屋キリスト教社会館 参加者：15世帯21名（大人17名 子ども4名）



〈震災・原発事故による県外避難者自主グループ めぐりあいの会の副代表で、会場となった発達センターあつたのスタッフでもある小林万希子さん(避難元:いわき市)には、前日の準備から当日の終了後まで大変お世話になりました。その当日の様子を報告して頂きました〉

「毎年恒例となりつつある3団体合同(被災者支援ボランティアセンターなごや、愛知県被災者支援センター、震災・原発事故による県外避難者自主グループ めぐりあいの会)の芋煮会が、今年(2024年12月1日)も実施されました。

元々は3.11東日本大震災の避難者交流会でしたが、今年は能登半島地震の避難者の方と合流交流会となりました。能登からの参加者が15名ほどお見えになりました。能登の皆さんは少し緊張された表情でしたが、演奏が始まると手拍子と共に笑顔が見えました。

温かい芋煮汁に、出来立てのお餅等をいただき、お腹も心も満たされ、少しでもホッとされた時間を過ごされていたらな、と思います。能登の震災から1年経ちますが、なかなか進まない復旧に不安も募

り、また、故郷を離れ知らない土地での避難生活に、疲れも出てくる頃です。

孤立化を防ぎ、途切れることなく、一方通行にならないような支援を続けて欲しいと思います。

めぐりあいの会 小林万希子」

今回は能登半島避難者支援も一緒に参加人数も多く、にぎやかさが増しました。折しも12月1日と師走に入ったところで、餅つきが始まると一気に年末、お正月の気分になりました。参加者の子どもたちも頼もしく成長し、次々と餅つきに挑戦しました。また、避難者の工藤さん(名古屋市港区)の中国本場手作り豆乳やロールきな粉餅も好評でした。その他、避難者の方の漬物の差し入れや、特技コーナーでは手芸のお得意な方々の作品展示もありました。

濱田農園農作業体験交流会「さつま芋ほり」 11/16 (土) @知多郡東浦町 参加者:4 世帯 9 名



自然の中で身体を動かし、みんなで芋掘り、大収穫!



重いよ!!



火起こし体験



働いたから、お腹空いたね!!



ほくほく焼き芋の
出来上がり! ♪



昼食メニュー:「さつま芋ご飯・かぼちゃサ
ラダ・味付け卵・白菜漬等」&手作りリンゴ
ケーキとクロワッサンの差し入れ! ♪

《濱田農園 Line グループへの投稿より》

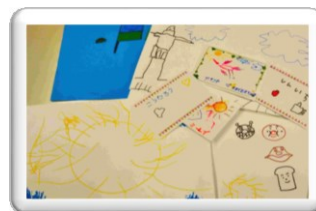
- ☆ 今日も心のこもったお料理、ありがとうございました。とても美味しかったです! ご馳走様でした。家で待っていた娘は、お芋に驚き、お土産にいただいたパンやご飯に大喜びでした。お芋も柿もトマトも大事にいただきます!! またお会いできる日を楽しみに、また頑張ります。
- ☆ 今日もありがとうございました。楽しい日を過ごせました♪ お昼ご飯もパンもどれも美味しく、ごちそうさまでした。お土産のお芋も、沢山ありがとうございました!
- ☆ 濱田農園では、美味しいお料理がお勉強になります。今日、ほんとに楽しかったです! 土に触る時間は幸せでした。たくさん動いたので、今日はゆっくり休みます♪ ありがとうございました。

「ピーターパン」観劇&ミニ交流会 12/21(土) @日本特殊陶業市民会館(名古屋市金山)

年末恒例の日本特殊陶業主催ファミリーミュージカル『ピーターパン』のご招待観劇の後、愛知県被災者支援センター主催のミニ交流会を同ロビー横にて開催しました。参加者は4世帯9名でした。

劇団飛行船によるマスクプレイミュージカル『ピーターパン』は、ステージで繰り広げられるネバーランドの“夢の一時”のクリスマスプレゼント。「元気がもらえました」「とても楽しかったです」等の感想でした。

また今年も参加したウクライナ避難者の子どもたち5名も、母国の戦争を忘れて、言葉を越えて、ダンスや音楽を楽しみました。



【ユース世代の防災・災害支援の取組み】

◎南山高等学校・中学校女子部・事前学習会「震災語り部」12/17(火)

・「東日本大震災復興支援チャリティ・コンサート 1/8(水)

※南山高等学校・中学校女子部の奥野元三先生に、東日本大震災復興支援の活動について投稿いただきました。

南山高等学校・中学校女子部では、2011年の東日本大震災発生以来、毎年秋または冬に、標題のコンサートを校内で開催しています。被災地に思いを馳せながら生徒または教員が思い思いの演奏を行い、観覧者には募金の呼び掛けをしています。また、会場の隣では、被災企業のものを中心に仕入れた食品を、寄付額を上乗せして販売します。集まったお金は、カトリック系の団体であるカリタス・ジャパンや、公益社団法人ハタチ基金に送金しています。

震災当初から、遠隔地に住んでいる上に直接的には何の力にもなれない、と感じていた教員、生徒たちでしたが、「だれにでもできることはある」をサブタイトルに、短期で終わらない「継続的支援」を掲げて、この度、年明けに14回目の開催を迎えました。

ただ、年月が経つに連れて震災当時の記憶を持っている生徒が減っていき、もはや中1生は、全員が震災後に生まれた生徒たちです。そのため、今回はコンサートに先立って、被災者支援センターを通じ、岩手県釜石市から愛知県に避難なさっている鈴木真砂子さんに来校いただき、ご講演をお願いしました。私たちは、震災直後のこと、愛犬との別れ、避難所のこと、愛知県に来てからのことなど、2011年当時のその場に、まるで自分がいたかのように感じて聞き入っていました。生徒たちの感想では、東日本大震災の津波の被害の大きさを初めて知った、南海トラフ地震への備えの必要性を感じた、自分の周りの人にもこのお話を聞いてもらいたい、というものが目立ちました。コンサート当日も、被災地へのメッセージが多く聞かれました。



この度は貴重なお話を聞かせてくださり、この場をお借りして改めて感謝申し上げます。これからも、このような機会を通して、生徒たちが、被災地や被災者の方に心を寄せてくれる優しい心を持って成長してくれることを願っています。
(南山高等学校・中学校女子部 奥野元三)

◎あま市小・中学校生「愛知県に避難されている方に寒中見舞いの絵手紙を送ろう！」

今年もあま市の17校の小中学校の取組みで、寒中見舞いの絵手紙をお贈り頂きました(表紙の写真参照)。今回の定期便の中に封入し、皆様のお手元にお届けしましたので、ご確認下さい。



◎飛鳥村・飛鳥学園『9年生 TOBI 探』報告書より



『あおぞら』153号でご紹介した飛鳥学園9年生の防災の取組みが、

冊子になりました。6名の避難者の方々の体験談も参考に、防災の学びがまとめられています。

避難者へのお礼のメッセージから抜粋:「東日本大震災の時の避難状況や津波の到達までの時間などを教えてもらいました。実際にそのような場面に直面した時に、どのように行動すべきか深く考えさせられました」「皆様の

実体験のお話は、何よりも勉強になり、私たちの発表資料は、より説得力のあるものになったと思います」「私たちは今後、被災者の方々のために何ができるのかを考え、行動していけるように学んでいきたいです」等。

「愛知版・災害ケースマネジメント」の経験をいかす

「災害ケースマネジメント」という考え方

災害ケースマネジメントとは、「一人ひとりの被災者の状況を把握した上で、関係者が連携して、被災者に対するきめ細やかな支援を継続的に実施する取組」（中央防災会議「防災基本計画」令和5年5月）のことです。国も、全国各地の災害時の経験をもとに『災害ケースマネジメントの手引き（内閣府）』を作成して、各自治体への普及を進めています。

愛知県被災者支援センターの経験もいかす

愛知県被災者支援センターでも「パーソナルサポート支援チーム」に参加された専門職の協力の上に、東日本大震災で愛知に避難された方々を支援する際、同様の考え方で努力してきました。そして、この経験や方法を今後の災害時に生かせることを願って、昨年3月に『愛知版・災害ケースマネジメントの手引き（発行：認定NPO法人レスキューストックヤード）』をまとめました。

愛知方式の特色とは

この『手引き』は、愛知の支援の特色を9点に整理しています。これは災害支援に詳しい兵庫県立大学の青田良介先生が、愛知の取り組み調査の上に整理されたもので、別項のような内容です。

毎月のセミナーで振り返る

この冊子をもとに、昨年4月から毎月オンラインセミナーを開いており、支援センタースタッフ・専門職・防災ボランティア・自治体職員・全国の避難者支援団体など、テーマによっても異なりますが、毎回10～20名程度が参加しています。

東日本大震災の経験だけでなく、2024年1月1日に発災した能登半島地震ではどのように動けたのか、地域が違って同じようにできるのかなど、一人ひとりに寄り添った支援に必要なことは何かを交流し、学びあっています。

愛知県内の市町村職員の皆さんと共に

「災害ケースマネジメント」の考え方は、都道府県や市町村の地域防災計画に盛り込まれるようになりましたので、今年度、愛知県も各市町村を対象にした「災害ケースマネジメント研修」を1月末に開催します。この場に、愛知県被災者支援センタースタッフや、パーソナルサポート支援チームで相談支援に関わられた専門職、また社会福祉協議会からも参加して、行政と民間団体がどのように協働するのかを事例をもとに話し合う予定です。

愛知版・災害ケースマネジメント

「愛知方式の特色」

- 【特色1】 官民連携・協働で役割を分担
- 【特色2】 民間力を発揮し個々の避難者にあわせた伴走型支援
- 【特色3】 多様な方法によって、被災者のニーズをつかむ
- 【特色4】 多分野の専門家・NPO が参加した支援を行う
- 【特色5】 生活再建の段階に応じた長期に渡る支援を行う
- 【特色6】 研修・スキルアップ・理解促進で、支援力を高める
- 【特色7】 県域と市町村(日常生活圏)での支援体制を継続する
- 【特色8】 多様な支援者と避難者をつなぐ中間支援力を高める
- 【特色9】 福祉的支援など既存の多様な施策を活用し支援する

「愛知版災害ケースマネジメントの手引き」より

多くの方の13年間の経験を生かせるように、今年も努力して参ります。（むかい しのぶ）

投稿//ひろさんの東北紀行「能代」

時折投稿していただいている伊藤廣昭さん(名古屋市南区 避難元:福島県南相馬市小高区)から紀行文をお届けいただきました。今回は秋田県能代市が舞台ですが、しばしふるさと東北地方の冬の旅をお楽しみください。



《日本中どこに行こうがー》

大分昔の話になるが、私が勤めていた会社の事務所は仙台にあった。東北各地のローカルスーパーを統合し本部を仙台に置いたのだ。私はそこに席を置いていた。基本的に月曜日が在席日で、その後の一週間ないしは二週間の行動を自ら組み立て、仮払いを受ければ日本国中どこに行こうが勝手だった。

《能代》

ようやく寒い季節になったので、少しその頃の記憶を辿りたい・・・。

今回話すのは能代であるが、日本海にひょいと突き出た男鹿半島の少し北にあるのが能代になる。県都の秋田から 60 kmほど北だろうか？

私がいた仙台から能代に向かうには、先ず東北新幹線で盛岡を目指し、盛岡からは田沢湖線で秋田へ、秋田からは奥羽本線で東能代に向かう。東能代で五能線に乗り換えて、ようやく能代駅に辿り着く長い行程だ。

大概是秋田で前泊、翌朝一番の列車で能代を目指した。前泊すれば当然飲みに出る。冬の居酒屋で燗酒を頼むと、アルマイトの急須で出されたのには、さすが秋田と変に驚いたものだ。翌朝秋田から能代へ向かう。

《大火》

能代はそれほど雪が積もる地ではない様だが、冬場は北西からの風が激しく襲う地勢らしく、春慶塗や木工の町である能代の町全体を焼き尽くす大火は、戦後二度までも町の殆どを呑み込んでいる。1949年2月20日と1956年3月20日の第一二次能代大火である。

その経験から、類焼延焼の災禍から街を護るため、主要道路の拡幅事業を進められる事になった。どんな自治体でも、住んでいる住民を移住・移転

させ道路を拓げるには時間が掛かる。40年の年月を経ても進まない町づくり。私はそんな復興途中の能代を訪れていたのだろうか？

《長靴の底》

初めて訪れた時、街がやけに眩しく真新しく感じていた。厳寒のその日も駅に降り立ち、目的の店までを歩き出したのだが、歩を進める度に滑って足を取られるのである。一緒に列車に乗ってきたご婦人の方の様子を見ると、少しもそんな気配も見せずに進んで行く。凍てついた道に慣れない為かと思い、蟹股になってみても結果は同じ。どうにも納得がいかず、辿りついた店で真っ先に靴売り場に向かい、長靴の底を見ると、あった！秘密は靴底に付けられた滑り止めの金具であった。

《“ぶりこ”》

能代、秋田と言えば、私には“ぶりこ”である。秋田音頭に出てくるあれである・・・「♪コラ、秋田名物、八森ハタハタ、男鹿で男鹿ぶりこ、能代しゅんけい、桧山納豆、大館曲げ輪っパ♪」。神からの下さりもの鱒（はたはた）の卵である。当時は乱獲の対策で漁獲制限が掛けられており、お目にかかる事が難しい代物になっていたのだが、知人に連れられて行った店で初めて食した。ピンポン玉ほどの丸々とした卵のプチプチとした食感は、今でも忘れられない。

そんな能代の厳しい冬を想像してもらうには、観光案内などで伝えられるスルメを焼きながら暖をとる五能線の、ストーブ列車の様子を想像してもらうのが一番かもしれない。

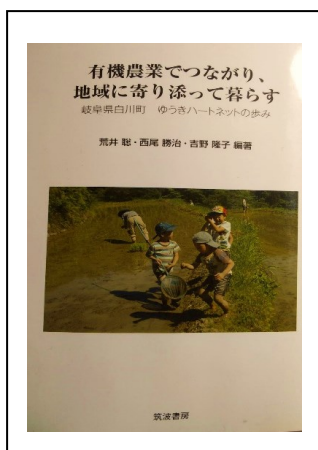
冬の能代は、吹きすさぶ吹雪の日本海側を北上する五能線のスタートの駅でもある。



おすすめの冊

『有機農業でつながり、地域に寄り添って暮らす』

荒井 聡・西尾勝治・吉野隆子他編著 (編集委員: 瀧川裕康)



【かつて反公害運動がありました】

公害問題の水俣病が大問題になったのが 1960 年代～70 年代、同時に農薬も問題になりました。当時多くの若者は運動の延長で、有機農業、無農薬の生活に参入しました。そのうねりは一旦引いたようでしたが、ここに登場する人達が、今、本格的なうねりを作っているようです。

【有機農業～どこで？仲間は？作物は売れる？～】

受け入れてくれる理解ある地域と住人・先達・仲間、住む家、農地、作物を売って現金収入、子育て、自然環境、都会とのパイプ…いざ移住するとなると、これらの課題を避けて通れません。

☆舞台になる地域が岐阜県白川町で、先達でお世話をされるのが～ゆうきハートネット(西尾さん)。

☆作物を売る場所の提供が～オアシス 21 朝市村(名古屋市栄)=都会とのパイプ作り(吉野さん)。

【移住して見事に独自の有機農業等の生活をしている事例】

◎伊藤夫妻(当時 30 歳代、茶など)◎児島夫妻(同 30 歳代、遊びなど)◎椎名夫妻(同 30 歳代、狩猟・シイタケなど)◎高谷夫妻(同 30 歳代、培養土作り)。

どなたも都会の生活からこの地に足を踏み入れて、独自の境地を切り開いています。



田植え体験



堆肥舎



お野菜ボックス



写真1 朝市村

オーガニックファーマーズ朝市村
(栄のオアシス 21)

【ご興味ある方は、以下を検索してください】

- ・ゆうきハートネット(岐阜県白川町) <https://www.yuki-heartnet.org>
- ・オアシス 21 朝市村(名古屋市) <http://www.asaichimura.com/about.html>
- ・山里ひとなる塾(豊田市) <https://toyotayh.org/>
- ・知多の恵み(知多半島) <https://kodawarin.jp/storystreet-shopkeepers/chitanomegumi/>

さっちゃんのレシピ とうふの梅が枝餅風


【材料】 とうふ 200g、白玉粉 200g、さつま芋 250g、
砂糖さつま芋の 1/4、バター 20g、塩少々、油適宜

【作り方】

- ① とうふをボールに入れて細かく崩し、白玉粉を入れてよく混ぜる。
 - ② さつま芋は皮をむき茹でて、柔らかくなったら余分な水分を捨てて、つぶす。
 - ③ ②に砂糖、バター、塩少々を混ぜて、弱火にかけてよくねり、荒熱をとる。
 - ④ ①を 8 等分位に分けて、手のひらで薄くのばし、③の芋餡を大さじ 1 強包み、形を整え薄くつぶす。
 - ⑤ 少量の油を引いたフライパンで④を焼く。片面やけたらひっくり返し、両面を焼く。
- ※とうふによっては水分量が違うので、柔らか過ぎるようだったら、白玉粉を増やす。



【イベント情報】 *開催・内容等が変更になることがあります。詳しくはチラシでご確認ください。

開催日	イベント名	内容（主催・共催など）	会場
2月2日(日) 10:30~15:00	ふくしま交流会	甲状腺エコー検診&交流相談会 主催:ふくしま交流会実行委員会 共催:愛知県被災者支援センター	ライフポートとよはし・豊橋市 勤労者会館(豊橋駅西口より豊 橋鉄道バス・神野ふ頭線 20分 ライフポート下車)
2月22日(土) 10:00~14:00 (予定)	田原市被災者支援 交流会	渥美半島田原市で交流会 主催:コ ープあいち、田原市、田原市社会福祉協 議会 共催:愛知県被災者支援センター	田原福祉センター(豊鉄渥 美線三河田原下車)
3月11日(火) 〈午後の部〉 14:30~15:00 〈夕方の部〉 17:30~18:00	東日本大震災 犠牲者追悼式	主催:「東日本大震災犠牲者追悼式 あいち・なごや」実行委員会。 献花・記帳:13:00~18:00 献花持ち込み歓迎。 式典オンライン生中 継 QRコード➡ 	名古屋市鶴舞公園 普選記 念壇 JR 中央線「鶴舞」駅 すぐ。地下鉄鶴舞線「鶴舞」 駅4出口



ウクライナ避難者の近況「ウクライナ避難者支援大交流会」11/9~10(土~日)@三河湾リゾートリンクス

(あいち・なごやウクライナ避難者支援ネットワーク:事務局レスキューストックヤード)



就労に求められる日本語能力の高さが壁で、ウ
クライナでのキャリアが活かせない、限られた仕事し
か見つからない…、支援金はもうなくなる…

前日の交流会に続いて、2日目には各種相談会が開かれ
ました。就労、日本語学習、医療、教育など、どれもウク
ライナ避難者にとって、切実で困難な問題となっています。



「大学で数学を学びたい」日本の大学/大学院進学の難しさ



【編集後記】

- ・年末にマンションのエレベーター改修工事で11日間使えませんでした。高齢サンタは、プレゼントの
入った大きな袋をかついで8階まで上がって来れなかったようで、我が家には来ませんでした(T.S)
- ・今日の風呂 湯に長時間 温い湯に 静かに浸かり 良い睡眠に/よく食べる 体重が増え 困ってる 料理
の量を 少なくせねば/有機農業 白川町と 販売の 朝市村の 本読み楽し(T.H)
- ・ノーベル平和賞 2024 を日本被団協が受賞。「核兵器は一発たりとも持つてはいけない。被ばく者の心か
らの願い」と訴えた。去る10月と12月に名古屋市中心部で、大戦時の米軍の不発弾2発の処理が住民
の避難や地下鉄等交通規制の下行われた。4000発の核兵器の廃絶を確実に、と祈るばかりだ(T.K)